

創刊号

2005年
5月15日

南高100周年

発行 広報委員会
責任者 生島 弘行
連絡先
都立南多摩高等学校 西川勝美
電話 0426 (42) 2431
FAX 0426 (42) 2195

都立南多摩高等学校創立100周年記念事業実行委員会 URL <http://nankou100.mile.tv/>

紙面案内

2面…校長あいさつ、PTA会長あいさつ
3面…実行委員長あいさつ
4面…実行委員会組織図、「南高行事予定」
「あとかぎ」



会長あいさつ

卒業生の皆様、そして、在校生、並びにご関係の皆様こんにちは。お元気ですか。

母校は、平成20年(2008年)に創立100周年という大きな節目を迎えます。

そこで、母校の更なる発展を願い、学校、PTA、同窓会が三者一体となり、すでに「創立100周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、記念事業や祝賀行事を大いに盛り上げようと活動に入っております。

記念行事、記念誌、名簿、募金など、協議しなくてはならない事項が山のようにありますが、委員の皆様がそれぞれの分野で精力的に取り組んでいただいております。

ぜひ、関係者の皆様の英知を結集し、記念すべき100周年行事を成功させたいと思いますので、絶大なご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、母校は平成22年には中高一貫校として生まれ変わり、一層の発展が期待されます。同窓会としても全力で支援してまいりたいと思いますので、併せてよろしくお願い申し上げます。

平成17年4月吉日

都立南多摩高校同窓会あかね会

会長 黒須 隆一

記念誌委員会からお願い

創立百周年記念事業記念誌委員会 委員長 染谷 英夫

本校は、平成20年に創立100周年を迎えます。が、それに合わせて現在100周年記念誌を編纂しております。そのために可能な限り多くの資料を収集して正確な内容の記念誌の作成をめざしております。以上のことから、お手持ちの資料を拝借致したいと存じます。拝借した資料につきましては保存の後、早急にお返しいたします。上記につきまして何卒ご了承の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

連絡先；東京都立南多摩高等学校 副校長 竹内重雄
電話：0426(42)2431 FAX：0426(42)2195

第一号の発刊、おめでとうございます。

同窓生の皆様には、日頃から南多摩高校の発展にご支援を賜り、誠にありがとうございます。お蔭をもちまして、八王子はもとより多摩地区全体の中学生から行きたい学校として大変良い評価を得ており、毎年入学志望者が高倍率となっています。昨年度から都立高校の学区制が廃止になり、従来の7学区である八王子・日野・町田地区以外からも多数の生徒が通うようになりました。府立第四高等女学校時代のように、多摩全域から生徒が通う学校になっております。広報誌の発行を機会に、同窓生の皆様の更なるご支援を賜りたく存じております。

中高一貫教育校について

平成22年度からは八王子地区中高一貫教育校として新たな出発をすることになります。都立中高一貫教育校は全都で10校設置され、その第一号が本年4月に開校する台東地区中高一貫教育校の白鷗中学高等学校です。一般枠の応募者は14倍を超しており、大変な人気になっています。次年度からは小石川高校・両国高校・都立大付属高校等が次々に中高一貫教育校に生まれ変わり、本校は富士高校・大泉高校・三鷹高校とともに22年度の開校となります。

中高一貫教育校には6年間を1つの学校として一体的に教育活動をする中等教育学校と、同一設置者による中学校と高等学校を接続する併設型、さらに既存の区市町村立中学校と都立高校が交流する連携型の3つのタイプがありますが、本校は中等教育型または併設型のどちらかになる予定です。いずれにしても、八王子を中心とする多摩全域から絶大な期待が寄せられることとなりますので、期待に十二分に答えられる学校づくりをして参ります。

現在の南多摩高校について

良い中高一貫教育校にするには、今現在の本校の教育活動を更に充実させ、全都に誇れる学校にする必要があります。冒頭にも申し上げましたが、本校にぜひ入学したいという中学生がきていますので、生徒たちの学校生活は実に意欲的です。学習はもとより、合唱祭・体育祭・文化祭等、同窓生の皆様が在籍していた当時の南高の雰囲気そのまま引き継いでいるのではないかと思います。この校風を大切にしながら、教育活動の充実に向けてさまざまな取り組みを行っています。本校のホームページをご覧ください。現在の南高の様子がお分かりになるとと思います。アドレスは次の通りです。

南多摩高校ホームページ・・・<http://www.mt-h.metro.tokyo.jp>

100周年記念事業に向けて

平成20年(2008年)の秋に記念式典を予定しております。すでに100周年記念実行委員会が発足して約2年となり、記念事業に向けての基盤作りが整いつつあります。今後は具体的に活動していくこととなりますが、同窓会、PTAと緊密な連携をとりながら準備を進めて参りたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

PTA会長あいさつ

創立百周年を迎えられるということはとても素晴らしい事とお喜び申し上げます。

幾多の教育改革の中で、閉校、統廃合となる学校がとても多いのです。そして南多摩高等学校も2010年には、中高一貫校として生まれ変わる大きな節目にきていると思います。同窓生はその過ごされた時代で色々な事があったと思いますが、今となっては決して無駄ではない懐かしい良い思い出となっていってしまうことでしょうか。在校生は勉学に忙しくその場にいてもきっと何が何だかわからないでしょうが……。

今まで築いてきた文武両道を貫き、明るい未来に繋がるような、同窓生、在校生、OB会、PTAが大きな一つの輪になり、多くの方々の心に残る記念行事に微力ながらお手伝い出来たらと思っております。よろしくお願い致します。

2004年9月30日

PTA会長 加嶋 ひさ

実行委員長挨拶

創立100周年記念事業実行委員会へのご協力をお願い

都立南多摩高等学校の同窓会（あかね会）、学校教職員、PTAのみなさまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は母校、南多摩高等学校発展のために、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、在校生のみなさんはそれぞれの学年で勉学にスポーツにいそしみ、青春を謳歌されていることと思います。

さて、母校は明治41年東京府立第四高等女学校として創立されてから40年、新制高等学校として56年、明治、大正、昭和、平成と4時代の長い歳月が流れました。そして来る平成20年（2008年）には創立100周年の大きな節目の年を迎えることになりました。

かえりみますと、この一世紀の間に卒業生は25000人を超え、各界において国内はもとより国際的にも、めざましい活躍をされていることは、誠にご同慶の至りでございます。

この度、輝かしい創立100周年を迎えるに当たり、母校が築いてきた歴史と伝統の更なる充実発展に向けて、創立100周年を祝う一大記念事業を挙行することになりました。

この時に当たり、私は学校、PTA、同窓会の三者からご推挙いただき、母校創立100周年記念事業実行委員長に任命されました第8回卒業生の常盤正臣でございます。微力ではございますが、みなさまのご支援とご協力をいただき、この事業の成功に向け邁進する決意ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今、ここに私たち誰でもがこの100周年記念事業にかかわれる立場にあります。100年刻んできた、この歴史をひもとき、この歴史の中にかかわってこられた人々に感謝し、母校が築いてきた幾多の事業や業績、そしてまた、今母校が取り組んでいる計画や課題を見すえ、未来に向けてメッセージを送るこの事業に、大勢の人々に参画していただきたいと思っております。

この事業を成功させるには

- 1 学校・PTA・同窓会の三位一体の企画運営
 - 2 大勢の人達の協力
 - 3 たくさんの資料と費用
 - 4 全卒業年度への実行委員の配置
 - 5 各学年毎に活動されている会（グループ）の協力
 - 6 事業に携わる一人一人の熱意と努力
 - 7 そして、みんなが固い絆で結ばれたチームワーク
- などが不可欠であります。

以上のような考えのもとに実行委員会が発足しましたが、上記の通り、これから、もっともっと多くの人々の協力が必要です。

どうぞみなさん、母校創立100周年記念事業実行委員会に参画され、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

特に、下表に示しますように実行委員が任命されていない年と一名の年の卒業生の方々のお申し出をお待ちしています。

《実行委員 0名と1名の卒業年》

昭和 39年（1名）	昭和 53年（0名）	昭和 60年（0名）	平成 6年（0名）
40年（1名）	54年（0名）	62年（0名）	7年（0名）
41年（0名）	55年（1名）	平成 元年（1名）	8年（0名）
43年（0名）	56年（0名）	3年（0名）	9年（0名）
45年（1名）	58年（0名）	4年（0名）	10年（0名）
46年（1名）	59年（0名）	5年（0名）	＝以上23年間

南多摩高等学校創立100周年記念事業実行委員会

【平成16年11月現在】

母 校一校長・副校長・事務長・新旧教職員
P T A 会長・役員
あかね会 会長・副会長・相談役

副委員長 (準備委員会メンバー)

半沢邦彦(14)	横田久子(33)	中島孝子(12)
渡邊マサ子(34)	平子カナ子(35)	守谷良子(12)
大島富子(2)	山田京子(38)	小山隆可(13)
川久保喜唯(7)	矢部昭枝(3)	小山俊子(14)
上野千恵子(3)	石川秀子(4)	吉富正敏(23)
河西優江(11)	広瀬智子(4)	斉藤正明(42)
中西フシ江(6)	渡辺晏江(4)	西澤篤司(42)
大塚光代(7)	糖信和代(6)	小川禎子(8)
野口富巳子(12)	萩生田芳江(7)	堀口昌伸(8)
田中ミホ(12)	久保田喜子(8)	野崎捷治(8)
内藤富美子(35)	橋本晴子(8)	染谷英夫(8)
石坂ツネ子(1)	横溝榮樹(9)	

会長 黒須隆一(12)

学校長 榎本成己

PTA会長 加嶋ひさ

実行委員長 常盤正臣()

◆◆卒業年度◆◆
(本25) [S10年卒]
(本35) [S20年卒]
1 [S24年卒]
2 [S25年卒]
7 [S30年卒]
17 [S40年卒]
27 [S50年卒]
37 [S60年卒]
40 [S63年卒]
41 [H1年卒]
50 [H10年卒]
55 [H15年卒]

委員会統括事務局

局長 染谷英夫 (8) 記	副局長 松本 弘 学式	局員 井上 務(21)記
副局長 半沢邦彦 (14) 式	〃 塩島 章子 P募	〃 佐藤弘子(24)式
〃 大島富子 (2) 記	〃 加嶋ひさ P式	〃 武井邦明(26)総
〃 野崎捷治 (8) 総	〃 生島弘行 (24)広	〃 仙波淳子(28)名
〃 小山隆可 (13) 募	〃 野口富巳子 (12)名	〃 西海健夫(29)募
〃 竹内重雄 学募名	〃 内藤 精一 (8) 記	〃 依田やよい(38)募
〃 植田和行 (15) 学総	〃 五十嵐満里子(11)広	〃 西澤篤司(42)記
〃 西川勝美 学広	〃 石川志津子 (14) 式	〃 原島なつき(51)記
〃 勝家 甫 学記		〃 山口雄樹(54)広

【記号解説】
学=先生・学校(事務含む)
P=PTA
募=募金委員会
式=式典・祝賀委員会
記=記念誌委員会
広=広報委員会
総=総務・財務委員会
名=名簿委員会

記念募金委員会 委員長 小山隆可(13) 副委員長 竹内重雄 学 福島珠子 P 橋本晴子(8) 久保田喜子(8) 小川禎子(8) 田中ミホ(12) 塚本 攻(9)	式典・祝賀委員会 委員長 半沢邦彦(14) 副委員長 松本 弘 学 加嶋ひさ P 大塚重康(4) 清水美輝(15) 萩生田芳江(7) 関原弘道(22) 桶川藤光(8)	記念誌委員会 委員長 染谷英夫(8) 副委員長 勝家 甫 学 山下めぐみ 学 石田耕士 学 渡邊マサ子(34) 大島富子(2) 小山奈々子(3) 西澤篤司(42) 内藤 精一(8)	広報委員会 委員長 生島弘行(24) 副委員長 西川勝美 学 高橋 央(24) 中西フシ江(6)	総務・財務委員会 委員長 野崎捷治(8) 副委員長 植田和行(15)学 半田 稔(6) 上野千恵子(3) 堀口昌伸(8) 武井邦明(26) 大塚光代(7)	名簿委員会 委員長 野口富巳子(12) 副委員長 竹内重雄 学 仙波淳子(28)
--	--	--	---	---	--

南多摩高校2005年度行事予定

6月7日(火) 合唱祭・八王子市民会館 9月17日(土) 文化祭 (南高祭)
9月6日(火) 体育祭 9月18日(日) " "

※皆様のご来場をお待ち申し上げます

【あとがき】多くの方々のご協力を得て会報1号が発刊できましたことお礼申し上げます。「協力」という文字は書いても読んでも簡単ですが実行の難しさを実感いたしました。2008年に向けて益々多くの方のお力添えが必要です。子供の頃の「百足競争」を思い出して下さい。しっかり肩につかまり心を一つにして足を一気に運ぶ・・・百年祭の日が待たれます。
《広報委員会》